

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和元年6月解析分)

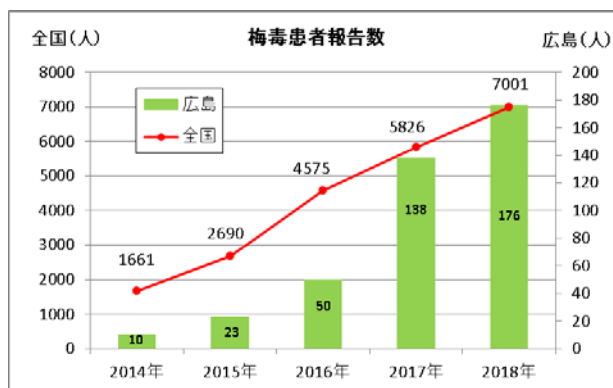
1 今月のトピックス ～ 梅毒 ～

■ 県立保健所で梅毒検査を実施しています（HIV検査含 無料・匿名・要予約）

近年、性行為などで感染する梅毒の患者が全国的に急増しています。本県では、2018年においては2017年に引き続き2年連続で患者報告数が100件を上回りました。

梅毒は早期に治療をすれば完治しますが、放置して進行すると脳や心臓に合併症を引き起こすだけでなく、妊娠中に感染すると、胎児に感染し、死産や早産、新生児死亡等様々な障害を引き起こす可能性があるため早期発見・早期治療が大切です。

現在、県立保健所（支所）においては無料で梅毒検査を実施しています。



広島県 梅毒検査

検索

■ 梅毒とは？

【病原体】梅毒トレポネーマ

【感染経路】感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触（主に性的接触）

【予防方法】コンドームの使用（ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などで、感染の可能性あり）

【症状】

感染後3週間

- ・感染部位（陰部、口唇部、肛門等）のしこり
- ・鼠径部のリンパ節腫脹



感染後数年

- ・皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍
- ・心臓、血管、脳などの複数の臓器の病変

感染後3か月

- ・手のひら、足の裏、体全体の発疹（バラ疹）、乾癬



(写真提供) 一般社団法人日本性感染症学会

■ 県立保健所（支所）における梅毒検査（要予約、無料、匿名、即日）

【検査概要】

- ・TP法（イムノクロマト法）を用いた血液検査。HIV検査と同時実施
- ・採血後、約1時間程度で結果が判明

【検査を受ける時期】

- ・正確な判定のためには、感染の可能性のあった日から3か月を経過している必要があります。

【結果が陽性の場合】

- ・医療機関を御紹介します。詳しい検査を医療機関で受けてください。
- ・なお、過去に梅毒の感染歴・治療歴がある場合はTP法では陽性と判定されます。医療機関で検査を受けて、治療が必要か否か、診断していただくことが必要となります。

梅毒検査の予約、会場及び日程の詳細は、[広島県のホームページ「梅毒検査について」](#)（[広島市](#)、[福山市](#)、[呉市](#)での検査を希望する場合の問合せ先を含む。）をご覧ください。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和元年5月分(令和元年5月6日～令和元年6月2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	96	0.21	0.42	↓	10	ヘルパンギーナ	69	0.24	0.38	↑
2	RSウイルス感染症	69	0.24	0.13	↓	11	流行性耳下腺炎	78	0.27	0.53	↗
3	咽頭結膜熱	253	0.89	0.89	↗	12	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	633	2.23	2.77	↘	13	流行性角結膜炎	56	0.74	0.84	↘
5	感染性胃腸炎	1,522	5.36	7.00	→	14	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
6	水痘	59	0.21	0.49	↓	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	250	0.88	0.83	↑	16	マイコプラズマ肺炎	3	0.04	0.13	
8	伝染性紅斑	91	0.32	0.15	↗	17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.01	
9	突発性発しん	116	0.41	0.46	↗	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	11	0.13	0.40	↓

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和元年5月分(5月1日～5月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	67	2.91	2.53	↗	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	63	3.00	3.18	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	21	0.91	0.72	↓	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	6	0.29	0.46	
21	尖圭コンジローマ	21	0.91	0.58	↗	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.03	
22	淋菌感染症	28	1.22	0.84	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)			急増減	↑	↓	1:2以上の増減
○急増疾患	手足口病	(0.17 → 0.88)	増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
	ヘルパンギーナ	(0.02 → 0.24)	微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
○急減疾患	インフルエンザ	(1.46 → 0.21)	横ばい	→		ほとんど増減なし
	RSウイルス感染症	(0.51 → 0.24)				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	(0.41 → 0.13)				

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患, 月報対象7疾患)について, 県内178の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

対象疾病No.	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
1	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	30	結核(30)〔西部保健所(3), 西部東保健所(1), 東部保健所(4), 北部保健所(2), 広島市保健所(6), 呉市保健所(10), 福山市保健所(4)〕
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症(3)〔西部保健所(1), 西部東保健所(1), 福山市保健所(1)〕
四類	11	A型肝炎(2)〔北部保健所(1), 広島市保健所(1)〕, デング熱(1)〔広島市保健所(1)〕, 日本紅斑熱(5)〔西部保健所(1), 東部保健所(3), 呉市保健所(1)〕, レジオネラ症(3)〔西部保健所(1), 広島市保健所(2)〕
五類	59	アメーバ赤痢(3)〔西部保健所(1), 広島市保健所(2)〕, ウイルス性肝炎(2)〔広島市保健所(2)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(7)〔西部保健所(1), 北部保健所(1), 広島市保健所(2), 呉市保健所(3)〕, 急性脳炎(3)〔広島市保健所(3)〕, 後天性免疫不全症候群(2)〔広島市保健所(2)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(6)〔西部保健所(1), 東部保健所(1), 広島市保健所(4)〕, 水痘(入院例)(2)〔西部保健所(2)〕, 梅毒(15)〔西部保健所(1), 西部東保健所(1), 東部保健所(1), 広島市保健所(12)〕, 播種性クリプトコックス症(1)〔東部保健所(1)〕, 百日咳(14)〔西部保健所(1), 西部東保健所(3), 東部保健所(1), 北部保健所(5), 広島市保健所(4)〕, 風しん(2)〔広島市保健所(2)〕, 麻疹(2)〔広島市保健所(1), 呉市保健所(1)〕